

JUST NOW JATS

CHALLENGE FOR THE FUTURE

1.3.5.7.9月発行

2020

53

March

CONTENTS

- サマースクール2019、学会重要告知、告知、JATS Research Project Award JATS Academy、第73回学術集会情報 1～2面
- 第1回理事会ニュース、正会員申請案内...3面
- 第37回日本呼吸器外科学会学術集会、第48回日本血管外科学会学術総会、告知、編集後記 4面

サマースクール2019

開催
報告呼吸器外科
心臓血管外科

今年も大好評につき、サマースクールを開催いたします。昨年は、呼吸器外科サマースクール2019(肺の手術にトライしてみよう)が、呼吸器外科学会、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社、コヴィディエンジャパン株式会社との共催、肺癌学会と呼吸器学会の協賛の下、8月17、18日に神戸医療機器開発センターとニチイ学館ポートアイランドセンターで開催。医学生29名、研修医58名が参加し、ウェットラボを中心に、講義、胸腔鏡手術ドライラボ、コンテストと盛りだくさんの内容を体験。一方、心臓血管外科サマースクール2019(君も心臓血管外科ビレッジに集まろう!見えてくるぞ、心臓血管外科医!)は、昨年度より設立された3学

会構成心臓血管外科サマースクール実行委員会の下、8月17、18日にテルモメディカルプラネックスで開催。医学生49名、研修医65名が参加し、実際の機器を用いたウェットラボ、ドライラボ、模擬ライブ手術を通して心臓血管外科を実体験しました。共に、夜には懇親会があり、講師や全国の仲間達との交流を深め大いに盛り上がりました。対象は医学生と研修医であり、将来の志望とは関係なく、両外科領域に少しでも興味があれば、一流の講師や仲間と触れ合える貴重な場として参加を募ります。体験と交流が将来の進むべき道へとつながることを期待します。暑い夏、集まり、熱く将来を語ろう。【研究・教育委員会 委員長 荻野 均】

呼吸器外科サマースクール

参加者の声

肺の手術にトライしてみよう



2019年8月17・18日 in 神戸

ベーシックコース

- 医学の知識もない状態での参加でしたが、実習がメインだったことやインストラクターの先生の丁寧な指導のおかげで何とかついていくことができました。特に、ブタの肺葉切除実習は、私に初めての動物実習であったため、命を扱うことの責任を感じ、深く印象に残っています。難易度の高い実習ではありましたが、インストラクターの先生が器具の正しい持ち方や扱い方を始め、基本的なことからマンツーマンの指導をして頂き、大変貴重な時間となりました。また、懇親会を通して多くの先生のお話を聴くことができ、将来を考える契機となりました。そして、学生の今、世界のスタンダードに対応できるよう今後一層勉学に励んでいきます。インストラクターの先生方、主催してくださった両学会の方、新潟大学の先生方、このような素晴らしいサマースクールを開催して頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。(女性・学生1年生)
- 全体を通して、本では学べないとても貴重な体験をすることができました。また胸腔

鏡での手技の難しさなど、自分にできるのかと少し将来に不安も得ましたが、同時にもっと沢山練習したいと思いました。こういった手技ができるようになったら呼吸器外科医としてやりがいを持って働けるなと思いました。大変お世話になりました。ありがとうございました。(男性・学生4年生)

●初めての参加でしたが、普段の実習とは違い自分で手を動かして学ぶことが多く、大変勉強になりました。ありがとうございました。気になる点は、生身のブタを使っている実習はなかなか大学では出来ないことなので、もう少し時間をかけてじっくりと行いたかったところです(特に開胸、閉胸実習)。その為に二日目の講演会を少し減らしてもいいのではないかと思います。(男性・学生5年生)

- 懇親会ではたくさんの先生方との出会いがあり、貴重なお話を聴くことができました。一対一でお話する中で、先生方の医業に対するパッションを感じました。数年後の自分の将来像と重ね合わせつつ、自分自身を振り返り、今後の方向性を考えるきっかけにもなりました。学生一年目ということもあり、病院や医師という職業に関し

て無知なため、全てが新鮮で刺激的でした。貴重な機会を作っていただけたことに感謝いたします。(女性・学生1年生)

アドバンスコース

- 充実した実習に加え、良い指導医の先生・班のメンバーに恵まれ、2日間たいへん楽しかったです。自分自身は外科をローテートする前ということで不慣れな部分も多かったのですが、丁寧な指導や励ましをいただき、短い時間ながら個人として、チームとしての成長を実感することができました。もともと呼吸器外科を志望科としており、内容への興味があったことから今回サマースクールに応募をいたしました。実際に参

心臓血管外科サマースクール

参加者の声

君も心臓血管外科ビレッジに集まろう!見えてくるぞ、心臓血管外科医!



2019年8月17・18日 in 神奈川

学生

- Wet labで運針で考えるべきことを教えて頂けてこれから練習して上手になりたいという思いが強くなりました。また2日間ペアを組んだ学生の方がとてもうまく、見て一緒に手を動かす事で勉強になったと思う。そしてモチベーションも刺激された。(男性・学生5年生)

- 実際に手を動かして学ぶことが出来ました。僧帽弁の解剖、右心系と刺激伝導系の解剖は実際に見る事で深く理解が出来ました。同世代の学生や若手の先生方とも多くのお話ができて、大変実りあるサマースクールでした。(女性・学生6年生)
- 大学の講義や実習ではできないような手技の練習の時間を沢山とっていただけて非常に楽しかった。自分と同じ方向性を持った学

重要告知 2020年度理事会重要告知事項

1. 一般社団法人定款(案)、定款施行細則(案)、一般社団法人会員懲戒規則(案)が承認

- 1) 一般社団法人定款
正会員を専門医会員に変更、評議員会を社員総会に変更、監事の任期を一期2年、再任1回までに変更
- 2) 定款施行細則
昨年会費値上げ案が承認されているのでその結果を踏まえた金額が提示、選挙評議員及び推薦評議員数を大幅に増加(併せて430名)、NPO法人の会長を統括会長、副会長を次期統括会長、次期副会長を次々期統括会長に変更し、役員が統括会長に選任されたら理事長に辞任届を提出、役員が分野会長に選任されたら理事長に辞任届を提出
- 3) 一般社団法人化へのスケジュール
2020年4月1日を登記予定、会員の一般社団法人への移行は事業年度開始日(2020

年8月1日)を予定、今後、登記に関する詳細をつめる予定、今回選出された監事の任期は2年、2020年6月に予定されている評議員選挙は一般社団法人の定款に則った選挙で行う。2020年度一般社団法人の損益予算書も承認された。評議員選挙の日程が前回より変更。詳細は当会HP参照。

2. 地方会のあり方

- 1) 地方会の本会との一体化事業が2020年8月から開始(2021年度から会費2000円値上げ)及び関西胸部外科事務局が本会事務局に移管
- 2) JATS Case Presentation Awards 一地方会が予選、本会が本選—第73回学術集会から実施し、サブスペシャリティ領域の専門医取得前の専攻医を対象とし、優秀な症例報告を各地方会から推薦を受け、本会定期学術集会で発表。

3. 学術集会参加費の件

第72回学術集会より正会員の学術集会参加費を5000円割引とする。正会員の会費負担を軽減し、且つ学術集会への参加を促す。(3年間予定)



特定非営利活動法人日本胸部外科学会
The Japanese Association for Thoracic Surgery

<http://www.jpats.org/>

生や多くの心臓血管外科の先生方と関わる事が出来て良かった。(男性・学生5年生)

●ステントや血管吻合など実習ではできないことをわかりやすく教えていただけてとてもためになったし、本当に楽しかったです！あつという間でした。ありがとうございました。(女性・学生5年生)

●同じ志を持った学生や研修医と話せて良い情報交換の場になりましたし、かなり刺激を受けました。運針など技術的な面はより努力が必要だと感じられました。親切に指導して下さった先生には感謝しております。(男性・学生5年生)

●模擬ライブでは細かいところまで解説が聞けてとても勉強になりました。Wet labは普段では絶対にできないので面白かったです。運針チェッカーはとても面白くて大学でもやってみたいと思います。懇親会で色々な先生方とお話できて、貴重な機会でした、2日間の内容はもう少し項目が減っても良いので1つ1つに時間をかけられると良いと思いました。(女性・学生5年生)

●手技の中で先生のフィードバックがあった事がありがたかったです。ブタのオペのLIVEも臨場感があって楽しかったです。学

生向けの説明も助かりました。同じ目標を持つ仲間に会えたことも感謝でした。(女性・学生6年生)

●AVRの際に運針の注意点や弁切除の注意点を詳しく教えていただきました。また、端側吻合における、どこから縫い始めるかによって吻合の難易度が激変する事が勉強になった。(性別・学年不明)

研修医

●今回このような機会を設けていただきありがとうございました。2日間様々な手技を学んだり、講師の先生方や研修医と話したり、勤務先ではできない経験となりました。機会があれば来年も参加したいと思います。(女性・研修医2年目)

●多くの先生方のお話を聴けただけでなく、全国の同じ志の方々と楽しく話す事ができて非常にモチベーションになりました。2日間ありがとうございました。(男性・研修医2年目)

●経験したことのない手技ばかりでtop surgeonの先生方に直接教わる事ができて良かった。事前資料でもっと手技の予習資料があるとより良かった。(男性・研修医2年目)

●Wet labがたくさん経験できとても充実した2日間でした。また参加したいです。スタッフの先生方、スポンサーの方々、本当にありがとうございました。(女性・研修医2年目)

●Wet labの時間をたくさん取っていただき、大変勉強になりました。1対1で教えて頂く機会も多く貴重な機会ありがとうございました。(女性・研修医2年目)

●OPCABは大変リアルティがあり貴重な経験となりました。助手用の器械がもっとあると良かったと思います。(男性・研修医2年目)

●手技の時間を長くとってくださっており非常に勉強になりました。ありがとうございました。(女性・研修医1年目)

●MVRとAVRの時間がもう少し欲しかったです。最後のOPCABが本格的過ぎて感動しました。本当にいい経験が

出来ました。(男性・研修医1年目)

●普段めったに話すことができない先生方から指導していただき、懇親会では将来についてもお話す事ができて本当に充実した2日間でした。(性別・年数不明)

●同じ心臓血管外科を志す同志がこんなにいることを知れて良かったです。高名な、自分だけでは出会う事のできない先生方にご指導いただけて天にも昇るような気持ちでした。(男性・研修医1年目)

●将来の道標となる素晴らしいスクールでした。(男性・研修医1年目)

呼吸器外科サマースクール
肺の手術にトライしてみよう

2020 7/11 (土)・12 (日)
【会場】
神戸医療機器開発センター (MEDDEC)
ニチイ学館ポートアイランドセンター

心臓血管外科サマースクール
なぜ今、心臓血管外科なのか？体験し、語らい、見つけよう！

2020 8/22 (土)・23 (日)
【会場】
テルモメディカルプラネックス

参加申込など詳細は日本呼吸器外科学会、日本心臓血管外科学会、当会のHPをご覧ください。

JATS Research Project Award (日本胸部外科学会研究助成)

研究・教育委員会

一昨年度、若手・中堅胸部外科医の臨床および基礎の両面において研究活動を支援すべく、『JATS Research Project Award』を設立いたしました。

本邦の胸部外科の診療レベルは、小切開・鏡視下・ロボット支援手術など新たな技術が臨床導入され、低侵襲かつ効率的な外科治療が急速に進み国際的にも高い位置にあります。しかしながら、研究面においては、大学院レベルでの基礎研究を専攻する外科医の数が減少傾向にあり、中堅外科医も含め、研究活動における国際競争力の鈍化が危惧されます。さらに、公的研究資金の獲得も限られ、資金面においても研究活動が困難なものになりつつあります。そこで、教育・育成活動の一環として、若手・中堅胸部外科医を対象に毎年2つのAwardを授与し、研究資金の支援も含め研究活動を推進することとなりました。

毎年、秋から年末にかけて募集し、春までに受賞者を選考するというスケジュールで行っており、現在第3回の選考中です。

第2回 (2019年度) 受賞者 (敬称略・所属 (応募時))

JATS award for transitional clinical research (臨床研究助成)
(研究期間：3年 支援額：100万円 選出数：1件)

松浦 馨 (千葉大学医学部附属病院 心臓血管外科)

JATS award for young investigators (若手胸部外科医研究助成)
(研究期間：2年 支援額：50万円 選出数：3件)

心臓	島村 淳一 (国立循環器病研究センター研究所 人工臓器部)
肺	村上 順一 (山口大学大学院医学系研究科 器官病態外科学講座 (第1外科))
食道	岡村 明彦 (がん研究会有明病院 消化器外科 (食道外科))

若手・中堅胸部外科医の皆さんへ JATS Academy 2018.10 OPEN!

3分野計100本を超えるまでになった手術ビデオ・ライブラリー。それはひとえに、提供者の先生方から若手・中堅の先生方へ寄せられる期待の表れと言えるのではないのでしょうか。メッセージも早や第3回。今回は教育的観点に大変ご配慮の上、ご作成いただいた新田 隆先生から頂戴しました。

手術ビデオ提供者からのメッセージ Vol.3



心臓血管外科手術は多様性を増し、最新の医療機器を駆使した複雑な手術やロボット手術を含む低侵襲手術やハイブリッド手術などが導入されています。不整脈の外科治療は、目には見えない心臓の電気的異常を外科的に修復する点で特殊性があります。手術が適切に行われたか否かは目視では確認できず、術後に正常な心拍が維持され、不整脈が発生しないことで初めて手術の効果が確認されます。

メイズ手術は今や国内で年間5,000例ほど施行されているポピュラーな手術の一つになりましたが、実際は必ずしも期待される結果が得られてはいないようです。その原因の一つは、他の手術と同様に目で見るだけで個々の手技が判断されている点です。不整脈外科では、目で見ただけではその判断は困難であり、Seeing is NOT believing. です。また、理論や根拠のない「なんちゃってメイズ」が一部の施設で行われているのも確実な結果

新田 隆 (日本医科大学 心臓血管外科)

が出せない理由の一つです。メイズ手術は心房細動を洞調律に戻すことで術後QOLを改善、脳梗塞を予防、そして生命予後を改善しますので、執刀する外科医には術後確実に洞調律に戻すメイズ手術を行う責任があります。

JATS Academyでは、「心房細動がきちんと治るメイズ手術」を心臓の局所解剖に基づいて解説しています。若手・中堅の外科医には、このビデオを十分理解して、是非とも適切なメイズ手術を実践して欲しいと思います。

第73回日本胸部外科学会定期学術集会 Future Prospectives

演題募集期間(予定) 2020年3月4日(水)正午～5月8日(金)正午

※公募演題詳細等はホームページで随時更新してまいりますのでご確認ください

会期：2020年10月28日(水)～31日(土)

※11月1日(日) AATS/JATS Mitral Conclave

会場：名古屋国際会議場

〒456-0036 愛知県名古屋市中熱田区熱田西町1番1号

会長：碓氷 章彦 (名古屋大学大学院医学系研究科 心臓外科学)

分野会長(呼吸器)：長谷川 誠紀 (兵庫医科大学 呼吸器外科)

分野会長(食道)：丹黒 章 (徳島大学大学院医学部薬学系研究科 胸部・内分泌・腫瘍外科学分野)

URL：https://jats-meeting.org/

主要プログラム(予定)

ホームページにて企画概要を掲載中

Postgraduate Course (予定)

心臓血管外科 Basicコース：10月28日(水)

心臓血管外科 Advancedコース：10月31日(土)

呼吸器外科コース：10月31日(土)

食道外科コース：10月31日(土)

プログラムスケジュール

10月28日(水)前日：医療安全講習会、評議員会、JATS Case Presentation Awards(心臓分野)、Postgraduate Course(心臓血管外科Basic)、全員懇親会

10月29日(木)1日目：理事長講演、分野会長講演(呼吸器)

10月30日(金)2日目：会長講演、分野会長講演(食道)、特別講演

10月31日(土)3日目：Postgraduate Course(心臓血管外科Advanced、呼吸器外科、食道外科)

11月1日(日)：AATS/JATS Mitral Conclave

主催事務局：名古屋大学大学院医学系研究科 心臓外科学
〒466-8550 愛知県名古屋市中区昭和区鶴舞町65
Tel：052-744-2376

学術集会事務局：特定非営利活動法人 日本胸部外科学会
〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-27
テラル後楽ビル 1F
E-mail：jats-gakkai@umin.ac.jp

1. 各種委員会報告及び協議事項

2020年度委員会名簿（案）が提出され委員会名簿（対外委員を含めて）が承認された。

（1）理事会

理事長就任挨拶での3つのChance（一般社団法人化による財政の安定化と事務局機能の強化、GTCSのIFの向上、地方会の活性化）を生かし、実践すべき5つのMission（3分野の学会と連携し基盤学会としての更なる議論と実践による3分野の発展、リーダーシップを発揮し種々の学会とネットワークを構築し国際的ブランド力を高める、次世代胸部外科医の育成、事務局機能の更なる発展と財政強化、働き方改革を進め胸部外科医の地位向上を図る）が報告された。特に、GTCSのIFの向上ではCase Reportの扱いについての議論の要望がだされた。

学術研究事業は学術集会を開催し、国際化を推進、広報事業は国民目線での広報活動、調査研究・教育事業は3分野での共同研究の充実、専門医事業は日本外科学会と協力し、サブスぺの立ち位置を維持するよう3分野の連携を図ることが重要である。

報告事項

1）第2回以降の理事会開催日

2）リーダーシップミーティングを開催

胸部外科アライアンスとして、学会が並列であり、本会がそのまとめ役を行う。

3）地方会のあり方

地方会の代表者が理事会にオブザーバー参加することが持ち回り承認され、本会理事会との連携が強固となる。

4）NCD社員総会

12月2日に開催された社員総会の報告があった。

審議事項

1）再生医療学会からの再生医療等製品レジストリ協議会（仮称）への議員派遣

上記協議会は日本医学会連合加盟学会の担当専門委員より組織され、協議会の中に組織される各疾患領域におけるワーキンググループで登録項目を検討する内容である。理事長から松宮理事が推薦され、満場一致で承認された。

（2）総合将来計画委員会

委員会開催スケジュール、他領域にまたがる議題は本委員会検討予定である。

報告事項

1）第75回学術集会運営会社のコンペ実施

総務・渉外委員会と協力して運営会社を決定する。

2）事務局移転

進捗状況が報告された。管轄委員会は実務が総務・渉外委員会、方針策定等は本委員会、移転の時期は2021年5月を目標、理事会は外部の会議室を使用、立地は利便性が高いエリア等である。

（3）政策検討委員会

本会が社会にどのような働きかけを行うかを検討する。

（4）専門医制度委員会

1）呼吸器外科専門医合同委員会

2020年認定呼吸器外科専門医認定結果、専門研修施設の認定（基幹施設及び連携施設）結果が報告された。また、専門医制度関連の講習会におけるQR認証（学術集会会場前受付システム等）及び受講証明書アップロードに関する見積書が提出されたが、再見積をとることとした。

2）心臓血管外科専門医認定機構

2020年心臓血管外科専門医認定結果、試験委員会からの報告がなされた。

3）食道外科専門医

食道外科専門医試験結果が報告された。

（5）正会員選出委員会

2021年度正会員申請の案内が報告された。一般社団法人化後には正会員は専門医会員となり、第73回（2020年）及び第74回（2021年）の学術集会参加費が5,000円割り引かれる。

（6）選挙管理委員会

2020年は評議員改選の年に当たり、定款施行細則に則ったスケジュールで行う。

（7）推薦評議員候補者選考委員会

選挙評議員決定後、各地区委員の参加にて速やかに推薦評議員候補者を決定する。

（8）会誌編集委員会

委員には前委員長をオブザーバーとして留任、臨床統計顧問は交代予定である。GTCS IFの向上、Best Reviewer Awardの選考（本年は質の評価を導入・3段階制）、Thoracic and cardiovascular surgery in Japan in 2017は2020年春Online first、



J-MACS Reportは毎年掲載予定、GTCS special issue (Lung cancer) の発行などが予定である。また、論文投稿・掲載状況（11月現在の新規投稿数488編で増加）、GTCS Citation Report（現時点では1,219）、Invited Review Article（Annual Reportと呼吸器外科分野の論文引用）などが報告された。GTCS IFの向上と国際性を高めるためにはCase Reportの削減であるが、期限を決めて集めないようにするとか、受け皿を日本外科学会、日本心臓血管外科学会、日本呼吸器外科学会とどう連携するのかこの3誌とコラボする方向で議論（総合将来でも議論）するよう要望がだされた。

（9）学術委員会

Annual Report2017は投稿中、Annual Report2018は2020年春に完成予定。新規のデバイス・手技等をJCVSDの新たな項目とし要望する、専門医のクレジットにする場合は本会が窓口的な役割を果たす。

（10）学術集会委員会

第75回学術集会運営会社のコンペ実施、学術集会アンケート回答の分析、学術集会のあり方などを検討する。呼吸器外科系のランチョンが少ないので、関連他学会の際に出展している企業に再度説明することとした。また、Aortic Symposiumを担当した湊谷理事から反省点が多々あることが報告され、サマリーにまとめフィードバックする。

1）第73回学術集会

審議事項として学会専用アプリの提案がだされた。学術集会ごとに作るのではなく、学会として契約し、継続性を持たせるべく今回は業者からの提案があり、検討した。

学術集会日程として10月28日（医療安全講習会、評議員会、全員懇親会など）、10月29日（ハイブリッドポスターセッション、3領域最新治療、会長招宴など）、10月30日（レセプションホールにおける3D企画など）、10月31日（日韓合同セッション、3学会理事長鼎談など）、11月1日Mitral Conclaveを企画していること、またレジデントフォーラムの開催が報告された。日韓合同セッションは、お互いに同数の医師を相手方の学術集会に派遣し、お互いの学術集会で開催することとし、テーマ及び概要は担当する学術集会会長が決定する。今回は4名を相互派遣し、日本胸部外科学会でのテーマは大血管となることが報告された。接遇内容は日韓とも同条件とするが、交通費USD1000とすることが承認され、今後は国際委員会とも協力して呼吸器も含めて詳細を決定する。

2）第74回学術集会

会期は2021年10月31日（日）～11月3日（水）グランドプリンスホテル新高輪、11月4日（木）Aortic Symposium（会場未定）が報告された。

3）第75回学術集会

会場・会期とも未定で1月8日のコンペで運営会社を決定する。

（11）財務委員会

本会が事業をしている7団体の会計を管理し決算書を作成すること、一般社団法人化等に関連して会計管理方法に変更がある場合は対応すること、委員会スケジュール等が報告された。交通費、宿泊費の見直し（消費税10%対応）、本会と地方会の年会費（2020年9月以降に2021年度年会費2000円値上げ分を徴収し、各地方会に分配する時期等の決定）については、今後、検討する。また、財政削減WGを設置してはどうかとの意見がだされた。

（12）倫理・安全管理委員会

第73回学術集会演題登録から倫理的手続きに関する指針の対応（今回は登録のみで検証はしない）、学術集会における医療安全講習会の企画、ライブ手術のガイドライン再作成等が報告された。なお、学術集会アンケートで医療安全講習会が前日では出席できないため、期間中の別日にビデオを流し、その参加をクレジットにしてはどうかとの意見がだされ、心臓血管外科

専門医認定機構に要望する。

（13）診療問題委員会

診療報酬改定に向けた外保連への要望項目の抽出と保険点数収載のための活動、各種診療関連問題への対応、医薬品・医療機器等への供給停止に関する検討などが報告された。審議事項としてAI診療作業部会における今後の方向性についての意見聴取があり、委員長一任とした。

（14）研究・教育委員会

JATS Academy（手術ビデオライブラリーに第2弾として56本を公開し全106本公開）、JATS Research Project Award（2018年第1回受賞者が第73回学術集会にて発表）、NCDデータを利用した複数領域にまたがる新規研究課題（本会からNCD・JCVSDデータを利用した急性大動脈解離外科治療の実態調査研究を提出中、今後は複数領域にまたがる研究課題を優先するが分野ごとの研究課題の推薦も検討）などが報告された。また、呼吸器外科サマースクール2019決算報告書が提出され、次年度繰越金約26万円が承認された。

（15）広報（Homepage-Internet）委員会

News letterの発行（年間5回で800万円の予算、会員全員に送付）、学会HP（英文HPは国際委員会と協力、一般人への案内も充実）、学会HPのリニューアル（コンテンツの整理・再編成を行い、複数社によるコンペを開催し制作会社の選定）、会員へのメール一斉送信及びWebアンケートの実施することなどが報告された。審議事項としてNews Letterは必要か、必要でも紙ベースなのか、HPに掲載でもよいのではとの提案があり、審議したが、次回理事会で再検討する。また、HPの役割であるが、会員だけを見るのではなく、一般向けの周知（世界に目を向けるなら英語を充実）も議論してほしいとの要望がだされた。

（16）総務・渉外委員会

勤務医師賠償責任保険及び団体保険、自然災害等による学術集会開催中止の保険の検討、事務所移転、Web会議の導入の検討をすることが報告された。

（17）定款改訂委員会

NPO法人から一般社団法人への移行がスムーズに行えるよう定款上の問題点に注意し、一般社団法人発足後にはNPO法人の終息に向けた手続きの確認に着手する。

（18）臓器移植委員会

各臓器移植関連学会協議会との情報共有を行い会員に広報、移植に関する諸問題について理事長からの諮問に対応する。

（19）チーム医療推進、働き方改革実現委員会（仮称）

昨年までの処遇改善・男女共同参画委員会及びチーム医療推進委員会をそれぞれWGとし、統合したチーム医療推進、働き方改革実現委員会（仮称）として活動する。働き方改革実現に向けて他学会とも協力を図りながら検討する。また、チーム医療推進WGは医師の働き方

改革を受けタスクシフティング、チーム医療推進、パッケージ化の推進などを検討する。

（20）国際委員会

2020年度フェロシップ事業の実施、トラベル grant（アジアからの若手医師に全体で100万円）、留学報告会・ザ帰朝報告（聴衆が少ないため広報方法を検討）、英文HPの拡充（広報委員会と協力しながら構築）などが報告された。

（21）COI委員会

医学研究のCOI（利益相反）に関する指針及び指針運用規則、当該委員会委員のCOI申告等の管理・対応を行う。

（22）地方会のあり方委員会

2020年8月から本会と地方会との一体化事業開始及び関西胸部外科学会の事務局移管、2020年9月以降の2021年度年分会費から2,000円値上げ、各地方会への分担金（北海道110万、東北135万、関東560万、関西530万、九州265万）、レジデントフォーラムの開催（名称変更が提案された）、本会・地方会の一体化に伴う個人データの共同利用などが報告された。レジデントフォーラムの概要は主な点は以下の通りである。

第73回から開始し、地方会が予選で本会が本選で優秀者を決定し表彰する。対象者はサブスペ領域の専門医（心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科専門医）取得前の専攻医、初期研修医、学生。推薦者数の大枠が発表され、推薦方法は各地方会に一任する形式である。レジデントフォーラムに推薦された方の学術集会の参加費は無料であるがPGC参加費は有料である。対象は第105回北海道地方会（2020年8月29日・30日）、第179回東北外科集談会（2020年6月6日）、第182回関東甲信越地方会（2020年3月7日）、第183回関東甲信越地方会（2020年6月13日）、第63回関西胸部外科学会（2020年6月25日～26日）、第53回九州地方会（2020年7月30日～31日）で発表された演題とする。※上記「レジデントフォーラム」の名称は第2回理事会（2020年1月開催）にて「JATS Case Presentation Awards」に変更となりました。

（23）J-MACS委員会

補助人工心臓のレジストリーを継続し、Statistical Reportの作成と公開、データ利用についての申請チェック、施設訪問監査などが報告された。一般社団法人化に伴い、VAD協議会に含めた事業とする。

（24）一般社団法人化委員会

一般社団法人登記、移行に関する工程表の作成、両法人の役員のあり方、財産移行計画の策定などが報告された。

2. 理事会スケジュール

今後の理事会スケジュールが報告され、承認された。理事会のない月に総合将来計画委員会（大きなテーマを議論）が予定され、その結果を理事会に報告する。

3. その他

（1）体外循環・人工心臓管理技術認定士2019活動報告

上記認定試験委員会の2019年活動報告書が提出された。

（2）外科医労働環境改善委員会

11月に日本外科学会で開催された議事録（案）が提出された。また、3学会（本会、心臓血管外科学会、血管外科学会）でICU術後管理のパッケージ化（2020年4月認定を目標に）が進行中である。

2021年度 正会員申請について

- 2020年4月30日（木） 正会員申請締め切り日
- 2020年6月15日（月）まで 委員会による審査かつ選出結果を理事会に報告
- 2020年6月22日（月）まで 選出されなかった者への結果連絡
- 2020年7月1日（水）まで 選出されなかった者からの異議申し立て
- 2020年7月15日（水）まで 異議申し立て者に結果を通知
- 2020年8月3日（月）まで 選出者に正会員委嘱通知

（申請条件等は学会ホームページをご覧ください。）

- ※ 正会員は、一般社団法人化後は「専門医会員」となります。
- ※ 正会員となった場合、2021年度（2020年8月1日）より年会費は20,000円となりますので留意下さい。
- ※ 第73回（2020年）・第74回（2021年）日本胸部外科学会定期学術集会学会参加費が正会員（評議員は除く）に限り、5000円割り引かれます。

Chest Surgery in Diversity

第37回日本呼吸器外科学会学術集会について

遠藤俊輔 第37回日本呼吸器外科学会学術集会会長／自治医科大学／呼吸器外科学教授

このたび、第37回日本呼吸器外科学会学術集会を2020年5月21日(木)、22日(金)の二日間、東京のホテルグランドニッコー

東京台場で開催させていただくことになりました。

今回は、第3回肺癌縮小手術国際会議(山形大学大泉弘幸会長)も同会場で同時期に開催する予定です。50年ぶりに日本で開催されるオリンピックと同じ年に東京で本学術集会を開催できることは呼吸器外科学会を世界に発信できる良い機会

であり、オリンピックに負けないような素晴らしい学術集会を開催できるよう努めてまいり所存です。

近年、医療技術の進歩のみならず、人口構成も大きく変革し、これからの求められる医療、また提供できる医療も多様化してきております。本学術集会がこのような呼吸器外科診療の新たな基準を作り出す契機になることを期待し、第37回のテーマを“多様性の中での呼吸器外科 Chest Surgery in Diversity”とさせていただきます。より活発な意見交換の場を設けるため、デジタルポスターを用いたミニオーラルセッションを初めて導入する予定です。私のような呼吸器外科引退間際の医師から若手へのメッセージとなるような“思い出の症例セッション”や、呼吸器外科を目指す臨床研修医・外科専攻医の先生方が我々

企画

- 呼吸器外科で期待される技術革新
- JACS/ESTS ジョイントセッション
- リンパ節郭清
- 肺移植から学ぶ呼吸器外科学
- 次世代へ伝承したい手術
- 思い出の症例(ミニオーラル)
- 研修医・専攻医セッション(ミニオーラル)



遠藤 俊輔
所属施設：自治医科大学 呼吸器外科学
卒業大学：筑波大学医学専門学群
簡単な略歴：
1984年 筑波大学医学専門学群卒業
同附属病院外科研修医
1988年 McGill University Post-doctoral research fellow
1990年 自治医科大学胸部外科学教室
2005年 自治医科大学附属さいたま医療センター准教授
2008年 自治医科大学呼吸器外科学教授



の仲間入りの第一歩として参加していただけるようなセッションも企画しております。

参加される方々にとって実り多い学術集会となるよう、我々も総力を挙げて準備しておりますので、多数の先生方のご参加をお待ちしております。

では お台場で会いましょう！

VASCULAR SURGERY OLYMPIAD

第48回日本血管外科学会学術総会の開催に向けて

荻野 均 第48回日本血管外科学会学術総会会長／東京医科大学心臓血管外科主任教授

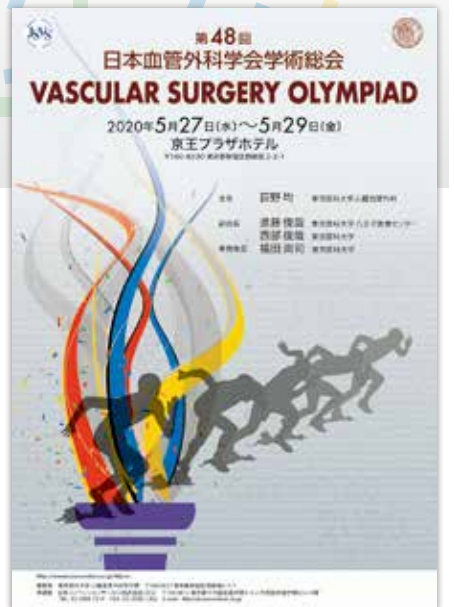
第48回日本血管外科学会学術総会を2020年5月27日(水)から29日(金)までの3日間、オリンピック開催が差し迫った東京(京王プラザホテル)で開催させていただきます。テーマは、オリンピック年にちなんで「Vascular Surgery Olympiad」とさせていただきます。内容的にも、International, Diversity, Generation, Training, Educationなどのキーワードをもとに、海外からも20

名を超える多くのエキスパートを招聘し国際的レベルのディスカッションを展開し、同時に内科・放射線科・麻酔科・臨床検査技士など関連領域との垣根を越えたダイバーシティ討論を組み込み、経験あるベテラン外科医から次世代の外科医への技術・知識の伝承、そして英語の多用など、オリンピック年の学術総会に相応しい企画を考えています。血管外科の全分野をカバーすべく、八王子医療センター進藤俊哉教授、本学西部俊哉教授の二名の副会長を置き、本学福田尚司教授(事務局)が中心となり中身の濃い学術集会を企画し

ております。

実際の学術総会においては、国内外の多くのエキスパート講演を盛り込むため、会期を2日半とやや拡大し、A、B会場を各々胸部大動脈関連、腹部大動脈・末梢血管関連のシンポジウム専用とし、参加しやすい会場設定としました。同時に、近未来を予感させる内容として、「映像で訴える」を主眼に置き、新しいデバイスを用いた最新の手術、血管内治療などを、わかり易い画像・動画を前面に出し、頭で理解し手技を習得する場といたします。さらに、ネット環境を整え、壇上と会場の距離感をなくしたホットなディスカッションの場とさせていただきます。情報提供など、準備段階から専用アプリ(48JSVS)を利用した新しい学会スタイルを提示できればと考えます。

オリンピック開催の影響で学術総会開催の全てにおいてコスト高となっており、皆



様には少し多めの出費となりますが、「Economically poor, but scientifically rich」を前提に魅力ある学術集会を目指し、教室員一同、鋭意努力いたす所存であります。2020年5月、華々しい発展を遂げる東京の新都心において、血管外科の近未来について熱く語っていただきますよう、より多くのご参加を期待しております。

編集後記

皆様に長らく親しんでいただいたニュースレターですが、この度理事会において現在の紙媒体の郵送という形を廃止し、新たにメールマガジンとしてリニューアルし、より頻度を増やして送らせていただくことが決定されました。郵送経費の削減が方針変更の主たる理由ですが、情報発信の上ではこれまでも増して必要な情報をいち早く会員の皆様にお知らせするように努めてまいりたいと思います。またこれに合わせて長らくの懸案であったホームページの改訂作業も開始する予定になっております。こちらも楽しみにしていただければと思います。

今回のニュースレターでは冒頭にサマースクールの開催報告が掲載されています。私も今回心臓血管外科サマースクールに参加させていただきましたが、非常に多くの学生、研修医の熱意にふれ、この分野の将来に大いに希望を持つことができました。特に女性の参加者が非常に多く、将来胸部外科医を目指す女性医師が増えていることに驚きました。こんな面白い仕事を男性だけにやらせておくのはもったいないと思ってくれればありがたいと感じました。皆様も様々な方法で若手外科医に胸部外科の面白さ、やりがいを知ってもらおうと努力されていることと思いますが、是非このサマースクールのことを話して参加を促していただければと存じます。

広報委員会委員長 松宮 護郎

日本胸部外科学会 NEWSLETTER

JUST NOW JATS が

メールマガジンとして

リニューアルします！

学会情報をいち早くお届けいたします。お楽しみに！

詳細は次号No.54(2020年5月号)にてお知らせいたします

※リニューアルに伴い、次号No.54(2020年5月号)をもって紙媒体での発行を終了いたします。

2020年
夏頃配信開始
(予定)



日本胸部外科学会 NEWSLETTER

JUST NOW JATS

No.53
2020年3月10日発行

発行◎特定非営利活動法人 日本胸部外科学会
〒112-0004 東京都文京区後楽 2-3-27 テラル後楽ビル 1F
TEL◎03-3812-4253 FAX◎03-3816-4560
URL◎http://www.jpats.org/

編集◎日本胸部外科学会 広報委員会
E-mail◎jats-adm@umin.ac.jp

デザイン・制作◎株式会社 杏林舎